

人口の増加は、消費、税金など全てに結びつくものです。企業もしくは団体（全て定住）を誘致に導いた方への奨励金を制度化してはいかがでしょうか。例えば、雇用30人規模の企業を誘致した場合には300万円。50人規模で500万円の誘致奨励金を成功報酬として支払うものです。

対象は、小野町民はもちろん、小野町出身、特につながりのある「ふるさと小野町会」など、広く公募してはいかがでしょうか。いくらでも実現すれば、地域の課題は少しでも解消できると思います。

人口の変動は地域の経済をはじめ、教育や福祉など様々な分野に強い影響力を持っています。地域の活力を維持するには、新たな就業機会の創出、良好な居住空間や安心して子育てができる環境の整備等により、流出人口の抑制に努めるとともに、地域外からの流入を促進しなければなりません。

このため町では、人口の増加につながる施策を最優先とし、施策の選択と集中による重点化に取り組んでいます。

取組の一つには、企業誘致による就業機会の創出がありますが、現在、全国的に企業誘致は加熱傾向にあり、各自治体では進出企業に巨額な補助金や税制優遇、さらに仲介者への成功報酬といった多様な誘致策に取り組んでいるところです。

当町にも、工場誘致奨励金の制度がありますが、さらに魅力的な誘致策への見直しが必要と考えています。そのため、奨励金や税制優遇、情報網や人脈などの活用など、幅広い視点から新たな誘致方策を見出し、早期誘致に弾みを付けたいと思います。

「リカちゃんキャッスル」は、通年で観光客を呼べる可能性があると思われます。行政が何らかのバックアップを考えても、何の不思議もないと思いますがどうでしょうか？

費用がかからずに、最少の費用でアピールできるようなイベントはないでしょうか？。民間と行政、そして施設のある行政区・商工会などが協力して話し合い、その施設と地域を盛り上げて行けそうな気がします。

例えば、施設前の「リカちゃん通り」の街路樹を利用して電飾の飾り付けをすること。それと合わせ各家庭が自宅で楽しんでいるクリスマスツリーを持ち寄り、道路沿いでツリーコンテストを開催するのも楽しいと思います。

また、町のダンス愛好者団体に呼びかけ、リカちゃんキャッスルの前庭でダンスパーティーを開催してもらっても、建物のイメージに合って良いのではないのでしょうか。いずれにしろ、何か行動を起こせば、もっともっと良い考えがみなさんから出てくると考えられます。

リカちゃんキャッスルについては、町の重要な観光資源であり、町・観光協会では観光宣伝を行っています。

また、リカちゃんキャッスル前の「リカちゃん通り」についてイルミネーションによるライトアップを行い地域の振興を図ることについては、中心市街地の賑わいを創出し地域全体の活性化にも発展する有効な企画であると考えています。

取り組みにあたっては地域住民・関係機関との共同参画が重要と考えておりますので、合意形成と具現化に向けた支援を行って参りたいと考えています。

小町ダムを紫陽花湖にしましょう。紫陽花は比較的手のかからない、花期の長い花です。町民に呼びかけて挿し木にし、根の出たものをダム周辺に植えてはどうでしょうか!!。

会合を持って相談すれば、必ず名案が生まれるものと信じます。

こまちダム湖周辺の整備については、地域住民等で構成する景観検討ワークショップを開催し、自然景観と調和した景観づくり、小野町の特色を活かした景観づくりなどが話し合われました。

その中で、桜やツツジ、モミジ、ニッコウキスギ、コスモス等を植樹し、四季折々に花等の観賞ができる憩いの場にしたいとの意見が出されています。

ご提案の内容は、これに合致しており、次年度以降の実施になるかと思いますが、今後、手法等を検討し実現化に向け進めていきたいと思っています。

植樹については、こまちダム地権者会の会議の中で協力体制が煮詰まっておりますが、地域住民のボランティアに頼らざるを得ないこともあり、管理も含めて実現化を検討していきたいと思っています。